八夕日刊 磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 [illegible]活版所
福島縣石城郡[illegible]十五
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊(日曜、祭日)休刊

休業期間中には 平銀開業せん

今晩頃交渉成立

株主總會は開業後

平銀行と常磐銀行合併に關しては平銀行重役一名、行員二名が四日以來水戸に赴き常磐銀行重役と會見頻りに折衝を重ね六日で折衝打切いよ〳〵本舞臺の比率問題に入り協議することゝなつたが、双方の間には相當意見があり比率に對しても幅があるので七日午後一時迄の模樣では結局この折衝は八日夜に至るらしい。然し大体の模樣では豫定の比率で圓滿手打にならうから成立の曉は直に兩行の間に假契約を結び休業期間內に開業し平銀行の名のもとに預金引出しに應じ二週間後に於て株主總會を開き委細協議決定の上正式合併を行ひ大藏省の認可と共に常磐銀行平支店の名で營業開始の段取をとることゝならうと。

復活を急ぐ 磐城炭礦

綴坑と住吉坑 明年から採掘

出炭制限の協定に縛られてゐる磐城炭礦では現在約五千名の勞働者を使役して一ヶ月七萬六千噸(茨城を除く)宛の出炭をなしつゝあり而して此制限賃行は今月中を以て滿期となるも更に尙ほ繼行さるゝものと觀られてゐるが、同社が曩に優良炭を採堀販賣する事によつて營業成績の局面展開を圖るべく過般來復舊作業中であつた水沒の綴坑は最初大正二年水沒以來の出水が六百五十尺の竪坑々底より八十尺の深さであつたのがその後排水工事により今や坑底より八尺の個所まで減水し近く全部の排水を見る事となつたので排水終了と共に竪坑內壁の修理その他全般に亘つて大修理を施し來月頃には一ヶ月優に二萬噸の出炭を期する事容易なると同時にこれ亦同樣計劃の下に試錘を開始されたる住吉坑は來年五月を以てより二萬噸內外を出炭し得る見込確實なので今後炭況が好轉し優良炭の需要が生ずるに至らば磐城炭礦では當分殆んど無制限にこれが供給をなし得る筈である。

石城郡の六縣議が 四倉港修築の建議

今期縣會に提案する

石城郡四ッ倉町漁港修築問題については屢報の如くであるが、石城郡出身若松、鈴木、野崎、[illegible]、古川、鷲の六縣議から建議案として提出することになつたが建議案左の如し。

建議案

一、石城郡四倉町漁港修築工事

右漁港は縣下三大漁場の一にして而もその第二位を占め三十馬力以上の遠洋漁船二十一隻、三十馬力以下十八隻、その他小型漁船百余隻を有し漁獲年額七十萬乃至百萬圓を算す、然るに現在の漁港は極めて狹隘を極め漁船の碇泊頗る困難にして現在の船數四分の一を碇繫せしせるに過ぎず一朝激浪の襲來に遇ふや入港全く不能に陥り他港に避難せざるを得ざる狀態なるを以て漁夫の如き危險を抱き出漁日數著しく減退し一般町民も經濟上の打擊を蒙り疲弊の極職を他に求むるの悲況に有之漁業救濟と就業振興のため速かに調査の上適當なる漁港修築せられん事を昭和二年度の通常縣會に建議に依り議長は知事に意見書を提出せられたる結果幸に本年七月末迄の港漁調査を遂げられたるも未だ之が實現を見るに至らざるは甚だ遺憾にして北方產業は日に減退するの狀勢なるがため直に修築せられん事を

右府縣制第四十四條に依り本縣知事に意見書提案致し度此段及建議候也

▲四倉獵友總會 四倉警察署管內四倉獵友會の總會は九日午後一時から同署內に於て開催するが、當日午前中は各町村の獵友會員がおひ〳〵に狩獵をなして其獲物をもち寄り審査の上賞品を授與する由である。

爆裂團檢擧の 殊勳者表彰さる

平署七海巡査部長

石城郡內郷村綴に根城を置いて團員十數名を集め爆裂團と稱して言語に絕えた惡事を働いてゐた不良少年團が過日一網打盡に平署の手に檢擧された事は既報の通りであるが、この檢擧に際して特に拔群の功を表した綴巡査部長派出所の巡査部長七海寅十氏は五日中村警察部長より金一封を添へて特賞された。

貨物自動車 料金問題

郡南の昨今

植田町地方は最近貨物自動車營業者が著しく增加したゝめ勢ひ荷主の爭奪が行はれる結果運搬料金もまた非常な不同を生じたので各營業者間にたえず爭ひをかもしてゐたが、自動車組合では最近貨物運搬料金の協定をなし各自これに則つて漸く反目を免るゝに至つたが、右協定料金は從前に比し各品共四五割乃至十割の値上となつてゐる有樣で荷主連は物價の値下を斷行しつゝある現況に拘らずこの値上は不當であると非難し採算上茨城縣大津、平潟町方面より自動車を雇入れる狀態である、組合員中には斯くては生活に脅威を來す問題であるからと他方よりの營業者に對し營業妨害的の態度に出てゐる等いよ〳〵非難は高まる結果に組合員中にも協定價格の變更を希望するものあると同時に一方荷主達は共同にて自家用自動車を購入して對抗すべく結束を固めつゝある模樣でその成行は一般の凝視するところとなつた。

工費三十余萬圓で 夏井川鐵橋かけ替

工事が完成すれば 大型機關車を運轉

常磐線平驛の東方夏井川鐵橋架け替工事は明年早々着工すべく鐵道省ではすべての準備を整へ夏井川の管理者加勢知事に護岸改修の承認を求めたところ六日正式に承認して來たので近く測量に着手する筈だが工事は全部架け替へるには少なくも工費三十余萬圓を要するので今回は十余萬圓の工費を投じて橋脚の一部と橋臺全部を取替へて置き時機を見計らつて全部架け替へる事になつた、なほ右の工事が完成すれば平驛以東にも大形の機關車が運轉されることになると

愈々明九日 魚市場開業

式後宴會

資本金十二萬圓の平町魚市場開業式は既報の如く明九日午前十一時から平町大工町の魚市場に於て、地方有志五百余名を招待し盛大に舉行するが、開業式後直ちに園遊會式の宴を開く筈である。

稻增收 品評會

平町外八ヶ村聯合稻增收品評會は八日午後一時から平町元石城郡役所に開き大山技師審査の結果左の如く褒狀を授與した。

▲一等湯本町坂本文治▲二等夏井坂本寅十郎、湯本坂本徹▲三等藻谷藤太郎外十三名

▲平職紹の成績 平職業紹介所は大正十三年に創立以來四ヶ年間昭和二年迄に於ける成績を統計に現して見ると求人數は一千九百九十名、求職者數は一千四百五十五名で求人申込が四ヶ年を通じて一番多かつたのは大正十四年であつた、一千四百余名の求職者の中紹介所の紹介狀を交付した者は一千八十六名で此の中就職出來た者は八百十六名で求職者に對する就職割合は五十七パーセントになつてゐるが、就職別にして見ると一番多いのは商業方面で次は土木建築、工場、戶內使用、雜業農業の順で商業は全部の五十五パーセントを占めてゐる、尙ほ此の就職者の年齡を調べて見ると最低は十三歲の少年から最高は六十三歲の老人迄であるが一番多いのは矢張二十歲以上三十歲迄の働き盛りのもので殊に三十四五歲の者が一番多い、同紹介所は此の統計を基本として求人、求職に對する調査をなし職業紹介の好成績をあげるべく努める由である。

▲星翁慰靈祭 石城郡錦村では七日現小學校の移轉二十週年記念を機とし教育の功勞者たる星一氏の嚴父喜三太翁が同校上棟式の歸途急死して廿週年となるのでその靈を慰むべく星一氏を正賓として招待し同小學校において午後一時より全村有志參列盛大なる慰靈祭を執行した。

磐城炭礦で 不良少年一掃

石城郡內郷村磐城炭礦では從業員中より多數の不良少年を出し非常に驚愕し今後は同礦勞務課で嚴重なる思想的取締を斷行することゝなつた一方隣礦の入山採炭湯本鑛業所で爆烈團或はその他の不良組に加はつた形跡のある者をどしどし解雇し不良一掃につとめてゐるがその他各炭礦でも今後嚴重警戒し不良組の發生を未然に防止する由。

▲勝地に櫻　石城郡錦村大字大倉下青年分團にては今回御大典記念事業として神谷村農事試驗分場より櫻樹苗木八十本を購入景勝地として先年來種々に施設をなしつゝある鮫川橋附近より字須賀に至る道路約七町の間に植樹する計劃成り農繁期中の寸暇を利用六日終了した。

▲密獵檢擧　石城郡四ツ倉町志津野菅波友次郎（四二）は四日大浦村で無免許で網を用ゐ小鳥をとつたこと發覺六日四ツ倉署に檢擧取調べ中。

クスリは　山野邊藥店

西洋料理の拵方

イワキ食堂主　森川泰一郎

（七）

（ト）カスタアド・プヂング

材料拾人前に付

鷄卵　拾個
牛乳　五合
砂糖　八十匁
香料（レモンエツセンス）　參滴

鷄卵拾個の白身と黄身を別々の器に取り分け、黄身の入れたる器の方へ、砂糖八十匁、牛乳五合を加へつゝ克く攪拌します。

別器の白身は充分に泡立て香料を入れ、尚ほ別器の黄身、砂糖、牛乳を混合したるものを、白身を充分泡立てたる器に流し込みつゝかるく攪拌して、湯せんに入れた儘強ひ天火に入れて燒き上げ、約二三十分にて切り分け供します。

「附記」此菓子は丁度豆腐の樣な蒸菓子にて、滋養素の逃げて居ないのが喜ばれます、特に注意して拵らえて下さいませ

貸家

白銀町　商店向　二十二圓
同　同　二十圓
同　同　二十三圓
仲間町　同　三圓五十錢
鷹匠町　同　十圓
柳町　同　六圓五十錢
柳町　同　十圓

電話讓渡、貸渡致升

平町白銀町（電話三二番）
加藤營業所

本劑の偉力により
頭腦を明晰にし
社會の落伍者たる勿れ

平町田町
宇佐美藥局
電話八四三

磐陽斯界の權威
加納活版所
電話四〇九・五〇二番

耳鼻咽喉科專門

平町仲田町七一

新築移轉
場所　台津醫院
電話五九五番

預金の賣買を致します

▼賣買の手續は無料で致します

平町仲田町

駒場株式店
電話四六五番

ツルヤ商店の七五三御祝子供デー

洋服　ラジヤオーバー
マント　各種襟巻
帽子　チヨツキ

色々陳列致しましたからどうぞ御覽下さい

平町　電四十

ツルヤ商店

都々逸

「洋服は着よく丈夫で一般むき　ば品質本位の正札堂」

甲乙の社員が或る會社のテーブルを圍んで

甲「いや君此の頃の不景氣には困つたね……」

乙「ウーン全く困るね、銀行は閉門だし」

甲「時に君馬鹿に良い洋服をおごつたじやないか、何處で新調したんだね、色も素敵だなあ、生地も」

乙「ウーンこれか、これは君も知つてゐる正札堂さ」

甲「あアー停車場通りの」

乙「そーだ兎に角正札堂は平町で一番評判はいゝからね」

甲「全くだよ……評判のよい事驚くね、どうしてだらう」

乙「それは君都々逸にも　「洋服は品質本位の正札堂が着よく丈夫で誰も好く」

甲「アハヽヽヽ」

正札堂

七日より　特作優秀映畫公開

▲他の追從を許さず、新進の革命的營業振を見よ

▲大帝キネ特作　渡邊新太郎監督作品　松本田三郎、實川延松、八野あかね大共演
仇討宿命奇談　**情魂**　全七卷

▲大帝キネ特作　松本英一監督作品　◎明治文壇の巨頭　菊池幽芳先生原作歌川八重子、千草香子、賀川清、藤間林太郎共演
現代連續大悲劇　**乳姉妹**　後篇

▲ビーディーシー映畫　鬪將ハリー・ケリー氏驚天動地の大活躍
西部大活劇　**鐵路に轟く**　全七卷

▲マキノ勝見プロ第九回作品　原作西條章太郎、監督勝見庸太郎　金看板甚九郎異聞
雁の道　全八卷

土日學生デー料金特に普通

帝キネ　マキノ　**有聲座**

最新滋强　回春劑　**ビタス**　定價（三圓五圓　拾圓廿圓

◎適應症（腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能　陰萎遺精、体力增進、新陳代謝等

平町專賣所　平町五丁目角　**山野邊藥局**

齒科專門

平町南町

X光線科

上田外科醫院
電話一二九番

セメント　壁用材料　コールタール　ペンキ塗料　板ガラス

磐城セメント株式會社　代理店　**西村屋藥舗**　平町二丁目　電話三番

父乙三郎儀

病氣の處療養不相叶本月四日午後一時死去致候間此段御通知申上候也

追而葬儀は來る九日午後一時自宅出棺性源寺に於て佛式に依り相營み申し候

十二月七日

福島縣平町搔槌小路
男　阿部政右衛門

當社社長阿部乙三郎儀

東京南胃腸病院に於て病氣加療中の處藥石効なく去る四日午後一時死去仕候此段謹告候也

追而葬儀は九日午後一時自宅出棺性源寺に於て佛式執行可仕候

十二月七日

平運輸株式會社